

ずいり 町政を問う!

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点^{ただ}を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

ページ	質問者	質問事項
7	藤本 健太 議員	1. 保育士の確保は 2. 伝統工芸士に対する補助、協力体制は
8	沖田 ゆかり 議員	1. 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成拡大を 2. 子どもたちへの熱中症対策を
9	水原 耕一 議員	1. 住民のニーズにあった公園づくりを 2. スポーツがしやすい環境づくりはできているか

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。

また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。

なお、熊野町議会のホームページ(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

Q 保育士の確保は

A 健康福祉部長

各補助金、新規雇用保育士等に係る給付金を活用し、早期確保を図る。

【Q1】

現在の待機児童の人数は。また、その対策は。

【A1】

8月1日現在で29人。施設整備をして利用定員を増加する対策を取っている。それでも、保育ニーズは利用定員を超過すると見込んでいる。

【Q2】

対策が不十分であると聞こえるが。

【A2】

施設整備を実施しても、利用定員を超えての入所状況になる見込みであり、待機児童が出る可能性が高い状況には変わりはない。引き続き、各保育施設との連携、及び低年齢人口の動向を注視して対応していく。

【Q3】

誰でも通園制度に対する対応は。

【A3】

事業開始にむけて現在準備を進めている。

【Q4】

本町の5歳児健診に対する対応は。

【A4】

国から令和10年度までに全国の自治体での実施を求められている。保育所、認定こども園、教育委員会など関係機関と連携を図りながら、早期に実施できるよう取り組む。

【Q5】

なぜ、すぐに実施することができないのか。

【A5】

小児科医及び心理士等の専門職の確保が困難であり、また医療・福祉・教育等との連携によるフォローアップ体制の構築ができていないことから、実施ができていない。



録画映像



藤本 健太 議員

Q 伝統工芸士に対する補助、協力体制は

A 企画担当部長

筆組合を通じて伝統工芸士の技術継承や魅力発信を支援する。

【Q1】

現在の本町の伝統工芸士の人数は。また、人数の推移は。

【A1】

現在は11名。平成26年の25名が最多で平成30年から減少傾向が続いてきた。

【Q2】

最大時の半数以下となっているが、減少の理由の聞き取りはできているか。

【A2】

年齢を理由に伝統工芸士の資格を返される方や、亡くなられた方が増えるなか、新たな伝統工芸士が生まれていないことが、減少の理由。

また、関係者からは、伝統工芸士の認定取得に魅力を感じられないと聞いている。

【Q3】

伝統工芸士の魅力について広く知ってもら

う取り組みも必要なのではないかと感じるが。

【A3】

伝統工芸士一人ひとりの技術や思い、魅力を伝える冊子を筆組合が作成している。

また、同冊子の英語版をホームページに掲載したり、インスタグラムを使って伝統工芸士の技を紹介するサイトを立ち上げるなど、国内外に向けて伝統工芸士に興味を持ってもらうための取り組みを行っている。

【Q4】

減っている原因に対し、町として何か対策を考えているのか。

【A4】

町だけで伝統工芸士の確保に向けた対策を実施することは困難であるが、伝統工芸士を所管する筆組合と連携しながら組合が取り組まれる事業に対し引き続き支援を行っている。